

平成30年度 第2回八潮市外部評価委員会 議事録

開催日時	平成30年11月16日(金) 午前9時00分から午前10時30分まで	開催場所	八潮市役所 3階 第2応接室
出席者 (敬称略)	委員長：島根 秀行 委員：若尾 岳志 清水 努 竹本 美恵子 岡 薫		
欠席者 (敬称略)	—	傍聴者数	1人
審議内容及び審議結果の概要	平成30年度 第2回八潮市外部評価委員会 1. 開会、あいさつ 2. 議事 (1)外部評価 ①八潮市老人福祉センター寿楽荘(指定管理) ②八潮市老人福祉センターすえひろ荘(指定管理) 3. その他 4. 閉会		
提供資料	資料1 平成30年度第2回八潮市外部評価委員会次第 資料2 平成30年度第2回外部評価委員会外部評価シート 資料3 平成30年度第2回外部評価委員会年次事業評価シート 参考資料1-1 自己評価表(八潮市老人福祉センター寿楽荘) 参考資料1-2 自己評価表(八潮市老人福祉センターすえひろ荘) 参考資料1-3 老人福祉センター事業活動明細書 参考資料2-1 業務履行評価表(八潮市老人福祉センター寿楽荘) 参考資料2-2 業務履行評価表(八潮市老人福祉センターすえひろ荘)		

【議事詳細】

平成30年度 第2回八潮市外部評価委員会

1. 開会、あいさつ

2. 議事

(1) 外部評価

①八潮市老人福祉センター寿楽荘（指定管理）

・委員

資料3「平成30年度第2回外部評価委員会年次事業評価シート」の3ページ、年次事業評価結果における「①開館時間」の確認結果について、休館となる場合には、市に届出がなされているとの記載があるが、休館の手続きについて明文化されているか。

→事務局

特別清掃のほか、設備の故障等により休館することがある。休館する場合は、可能な限り早く届出を市に提出することとしているが、その手続きについて明文化はしていない。

・委員

資料3の5ページ、指定管理者自己評価及び業務改善に向けた分析における「(1) 指定管理者自己評価」に、屋根等の施設全体の大規模修繕が必要との記載があるが、早急に修繕が必要な状態か。

→事務局

将来的には大規模修繕が必要だが、現在は必要な箇所に対し、その都度修繕することで対応できる状態である。

・委員

資料3の5ページ、指定管理者自己評価及び業務改善に向けた分析における「(1) 指定管理者自己評価」に、老人クラブへの加入者が減少傾向との記載があるが、理由は把握しているか。

→事務局

老人クラブへの加入者が減少した理由としては、娯楽が多様化してきていることにより、個人で趣味の時間を楽しむ高齢者が増えてきていることが考えられる。なお、個人で寿楽荘を利用している人数は、平成25年度は3,839人であったのに対し、平成29年度は12,705人に増加している。これについては、浴場の利用者が増加し、リピーターとして何度もご利用いただいていることが理由の一つとして考えられる。

・委員

参考資料1-1「自己評価表（八潮市老人福祉センター寿楽荘）」の4ページ、平成29年度利用者調査表では、合計356と記載があるが、資料3の2ページ、利用者満足度調査結果（抜粋）における指定管理者に対する評価（総合評価）の合計人数は、310人と記載がある。これは、調査票の提出はあったが、該当項目が未回答であった人数を除いたということか。

→事務局

該当項目について、無記名かつ自由記載の欄に明確な理由の記載がない回答を除いている。

・委員

参考資料1-1の4ページ、平成29年度利用者調査表における「利用者について」という項目で、住所の未回答が5と記載がある。利用料金が、市内在住者と市外在住者とで異なるとのことだが、本調査以外で利用者の管理はされているか。

→事務局

住所については、施設の受付で記入いただいた用紙で別途管理している。

・委員

参考資料1-1の4ページ、平成29年度利用者調査表における「利用者について」という項目で、女性の割合が大きい理由は把握しているか。

→事務局

女性の利用者は、友人等と複数名で利用される場合や、老人クラブ等の団体に利用される場合が多いため、割合が大きくなっている。

・委員

老人クラブ会員の男女の割合を教えて欲しい。

→事務局

手持ち資料がないため、後日回答する。

・委員

参考資料1-3「老人福祉センター事業活動明細書」の1ページに記載のある、臨時職員給与について、老人福祉センターの指定管理料の中に、介護保険事業に従事している臨時職員の給与は含まれているか。

→事務局

寿楽荘では、平成29年度から介護保険特別会計の介護予防・日常生活支援総合事業として、「基準を緩和した通所型デイサービス」を開始しているが、こちらに係る経費については指定管理料に含まれていない。

・委員

老人福祉センターの種別として、特A型、A型、B型があるが、それぞれの違いについて教えて欲しい。

→事務局

老人福祉センターの種別は、老人福祉法等において、施設の規模等によって定められている。例えば面積要件として、特A型は延床面積で800㎡以上、A型は495.5㎡以上、B型は165㎡以上495.5㎡未満といった条件がある。また、B型はA型を補完する施設として位置づけられている。

・委員

老人福祉センターの設置にあたり、国や県からの補助はあるか。

→事務局

以前は、国や県からの補助があったが、現在はない。

・委員

指定管理者である社会福祉協議会の余剰金は、社会福祉協議会のほかの事業に充当しているのか。

→事務局

施設の緊急的な修繕等に対応するため、積立っていると伺っている。

②八潮市老人福祉センターすえひろ荘(指定管理)

・委員

資料3の6ページ、管理経費の収支状況における収入について、平成29年度の収入が平成28年度と比較し、大きく減額となっている理由は何か。

→事務局

平成28年度まで指定管理委託料によりで実施していた「生きがいデイサービス事業」を、平成29年度から介護保険特別会計の介護予防・日常生活支援総合事業としたことにより、指定管理料が減額となったためである。

・委員

寿楽荘とすえひろ荘で予算規模に開きがある主な理由は何か。

→事務局

光熱水費によるものが大きい。すえひろ荘は、隣接する東埼玉資源環境組合第二工場ごみ処理施設から、ごみ処理の際に発生した蒸気熱の供給を受け、給湯に活用している。また、電気料金は併設施設である八潮市立コミュニティセンターが負担しているため、光熱水費が抑えられている。

・委員

資料3の6ページに記載のある、活動指標「利用者数」の計画値は、どのように算出しているのか。

→事務局

高齢者人口の増加を見込み、前年度の計画値から4.1%増加した人数を計画値としている。

・委員

資料3の6ページに記載のある、活動指標「利用者数」の実績が、計画を大きく上回っているが、施設の運営に問題が生じることはないか。

→事務局

施設の定員は、寿楽荘が120名、すえひろ荘が100名であり、日々の利用状況によって団体利用者のためのバス送迎の回数を調整する等して対応している。また、浴場の利用者が増えているが、譲り合って利用いただいているため、運営に問題が生じたことはない。

・委員

資料3の6ページに記載のある、成果指標「高齢者人口に占める月平均利用率」の計画値及び実績値の計算式を教えて欲しい。

→事務局

後日回答する。

・委員

資料3の7ページから9ページに記載のある、年次事業評価結果における確認結果欄について、確認方法は記入されているが、確認した結果が記入されていない項目がある。

→事務局

確認結果欄の表記の方法について検討する。

・委員

すえひろ荘で大規模修繕が実施されたことはあるか。

→事務局

大規模修繕が実施されたことはない。

・委員

各部屋の利用率はどれぐらいか。

→事務局

各部屋の利用率は把握していない。

・委員

すえひろ荘の利用条件はあるか。

→事務局

60歳以上という年齢条件がある。

・委員

利用者の年齢はどのように確認しているか。

→事務局

施設の受付で自己申告をしていただいている。本人確認書類を用いた厳密な年齢確認は行っていない。

・委員

現在、市内在住者の利用料金は設定されていないが、設定することはできるのか。

→事務局

設定することは可能であるが、適正な利用料金を設定するため、調査・検討が必要となる。

・委員

寿楽荘とすえひろ荘で実施する事業が異なっている理由は何か。

→事務局

それぞれの施設において特色のある事業を実施するため、独自で事業計画を立てている。

・委員

寿楽荘とすえひろ荘で、充実した事業が実施されていると思うので、引き続き魅力ある事業を展開して欲しい。

以上